

お薬の上手な飲ませ方

お子さまによっては、お薬の味を嫌がることやうまく飲み込めないことがよくあります。それでも病気で機嫌が悪い子供に、お薬を飲ませるのは大変ですよ。でも、お薬は医師の指示通りにきちんと飲んで、はじめて効果が出るものです。飲ませるためのちょっとしたコツや工夫をご紹介します。

薬剤師 是るな

おだいにしてください

こなくすり粉薬

- <お団子にしてペタッ>
- ① 手指をきれいに洗います。
 - ② おちょこに水を入れ、一度その水を捨てます。
 - ③ ②にお薬を入れます。
 - ④ 手指などで水とお薬をからませて、お薬のお団子を作ります。水が足りなければ、少しずつ足します。
 - ⑤ 指にお薬のお団子をつけて、子供の頬の内側か上あごにペタッとつけます。
 - ⑥ 水を飲ませます。⇒ お薬のお団子が溶け流れて飲みこめます。



ポイント

まずはお薬を上手に飲ませる為のポイントをいくつか、おさえておきましょう。

- ★ お薬を飲む必要性を言い聞かせましょう。
 - 子供に、お薬を飲むと病気がよくなることを説明しましょう。子供は大人の言ってることや表情をちゃんと見ているので、言ってもわからないし・・・とあきらめないでね。
- ★ だましたり、ごまかしたりしないで！！
 - どうしても水で飲めなくて、水以外のものに混ぜる時でも、お薬が入っていることを説明したうえで飲ませましょう。ただし、主食には混ぜないこと。例えば、母乳やミルクなどに混ぜるのは、母乳やミルク嫌いになるのでやめましょう。
- ★ お薬が飲めたら、思いっきり褒めてあげましょう！
 - 「すご〜い、お薬ちゃんと飲めたね」「よくがんばったね」と言われるのが、子供にとっては嬉しいことです。また褒めてあげると、自分からすすんで「お薬飲む」と言ったりもしますよ。

<水に溶かす または 水に混ぜる>

お薬によっては、溶けにくいものもあります。溶けにくいものを溶けるまでと必死で溶かそうとすると、お薬にコーティングされていた甘味がとれて、苦くなることがあります。溶かすというより、混ぜるという気持ちで行いましょう。

注意

- ★ 必ず飲む直前に行いましょう。
- ★ まずは飲みきれる量の水から始めましょう。水の量が多すぎると、飲むことを嫌がる場合もあります。

■ スポイトを使うとき ■

むせてしまうことがあるので、のどを直撃するのは避けましょう。上奥歯あたりに流しこみます。頬の内側をつたって、流れるようにできるとOK。

■ スプーンを使うとき ■

スプーンにお薬をたくさん盛らないように気をつけましょう。

■ ほ乳瓶のニップルを使うとき ■

ほ乳瓶のニップルをくわえさせて、お薬を流しこみます。ニップルにお薬が残っていたら、水で流しこみましょう。

坐薬

- ① まず、おむつやパンツを脱がせて準備しておきます。※坐薬の挿入前に手をきれいに洗っておきましょう。
- ② 「1回1/2個」など、薬剤師から切ってしまうように指示がある場合は坐薬を指示どおりに斜めに切ります。
- ③ 先のとがった方(太い方)から包装をはがして薬を取り出します。坐薬の表面を水やオリーブオイルなどで、濡らすと滑りやすくなり、挿入しやすくなります。
- ④ 坐薬を先のとがった方(太い方)から、肛門に挿入します。しっかり押し込むと戻りにくくなります。
- ⑤ 挿入後、しばらくの間、肛門をティッシュなどで押さえ、坐薬が出てこないことを確認します。
- ⑥ 最後に手をきれいに洗いましょう。

注意

- ★ 冷蔵庫から出した坐薬は、使う前に少し室温に戻しておくか、少し手で温めてから使うようにしましょう。
- ★ 坐薬を入れた刺激で、坐薬がうんちと一緒に出てきてしまうことがあるので、坐薬はできるだけ排便後に使うようにしましょう。

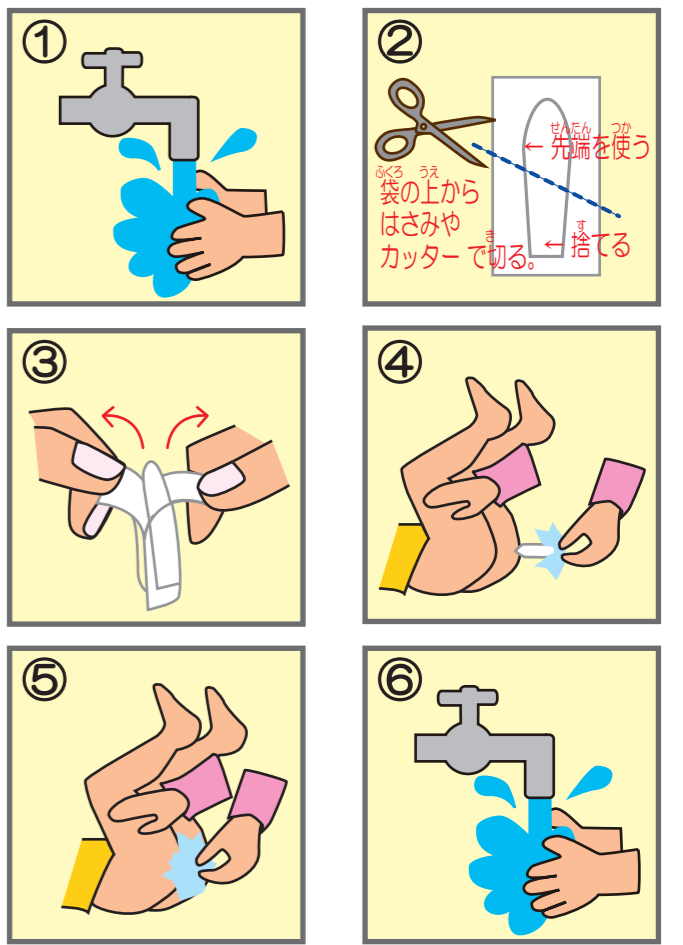
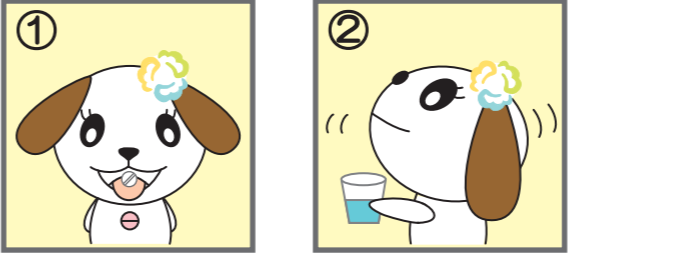
カプセル

- ① 舌の奥の方にお薬を置く。
- ② 水を飲みこむと同時に下を向く。(ゴクンとうなすく)



錠剤

- ① 舌の奥の方にお薬を置く。
- ② 水を飲みこむと同時に上を向く。



！ 保管上の注意

使わない坐薬は、冷蔵庫など、できるだけ涼しい所に保管しましょう。

処方せん調剤薬局 はるな薬局 栗生外院店



お薬のことはもちろん、飲ませ方などお気軽に薬剤師までご相談ください。

〒562-0025
 箕面市栗生外院 1-11-21
 TEL: 072-749-3531
 FAX: 0120-87-3532

【営業時間】
 <月~金> 9:00~18:00
 <土> 9:00~13:00
 【定休日】 日曜・祝日